

埼玉県障害者スポーツ大会「令和2年度彩の国ふれあいピック春季大会」
参加申込にあたって(申込団体確認用)

実施要項及び参加申込書等の電子データは、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会ホームページに掲載しています。2月6日(木)以降、ダウンロードすることができます。

ホームページ <https://sainokuni-sasa.or.jp>

または「埼玉県障害者スポーツ協会」で検索

1、提出書類について

- ① 様式1【参加申込書】(原本)
選手から提出された申込書のコピーを所属団体の控えとし、原本を提出してください。
- ② 様式2【団体総括表】
申込を受けた団体で作成してください。

2、申込書類提出期限について

申込を受けた団体(市町村障がい者スポーツ担当課、学校、施設)から一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会への申込期限は、**令和2年3月10日(火)必着**です。

郵送・持参(平日 9:00~17:00)にてご提出ください。(FAX 不可)

3、参加申込書の確認について

参加申込者から提出された様式1【参加申込書】は、記入漏れ、記入誤りがないことを確認し、不備がある場合は参加申込者に確認し、記入内容を補正してください。

参加は一人1競技のみです。複数の競技への申込みはできません。

各項目の記入要領

全競技共通項目

- ①団体名
市町村、学校、施設名を記入。
- ②選手氏名、ふりがな
選手氏名、(ふりがな)を記入。プログラム等の印刷物に表記するため、正確にご記入ください。
- ③性別
「1男」「2女」どちらかを○で囲む。
- ④生年月日
生年月日は西暦で、年齢は、令和2年(2020年)4月1日現在の満年齢を記入。
申込み時点で誕生日を迎えていない2~3月生まれの選手の年齢にご注意ください。
- ⑤現住所・連絡先
現住所(住民票があるところ)、電話番号等連絡先を記入。
その他連絡先は、ご本人と連絡が取れない際に連絡のつく連絡先(保護者携帯・学校・施設)をご記入ください。

⑥手帳

■身体障害者手帳

「交付都道府県市名」、「交付番号」、「種別・等級」、「障がい名」を記入。

手帳に記載されている障がい名だけでは、障がい区分が正確に判断できない場合がありますので、障がいの原因となっている傷病名等を具体的にご記入ください。

視覚に障がいがある場合は、視力を記入。矯正できない場合は「不可」を○で囲む。

■療育手帳

取得の有無について、「有」または「無」を○で囲む。

■精神障害者保健福祉手帳（卓球のみ）

取得の有無について、「有」または「無」を○で囲む。

「有」の方は、有効期限を記入。

「無」の方は、証明として用意できる関係書類を○で囲む。

⑦障がい分類

主たる障がいを、「1」～「6」の中から一つ選択し、該当する番号を○で囲む。

競技の対象とならない障がいには、あらかじめ「取消線」が引かれています。

※障がい重複している方は、一つの障がいを障がい分類(主障がい)として選択してください。

ここで選択した障がい分類をもとに障がい区分番号を決めます。

⑧重複障がい

障がい分類で記入した障がいのほかに、重複する障がい(手帳記載分のみ)がある場合は、該当する番号を○で囲む。重複障がいがない場合は、「0」を選択。

⑨その他疾病

手帳等への記載はないが、服薬を必要とする持病(糖尿病、喘息、アレルギー)等を記入。

⑩全国大会代表希望、出場歴

代表希望を、「1」～「3」の中から一つ選択し、該当する番号を○で囲む。

※未記入の場合は「3希望しない」とみなしますので、ご注意ください。

出場歴を、「0」～「5」の中から一つ選択し、該当する出場した開催地がある場合、○で囲む。

さいたま市代表を希望するには、以下の条件が必要です。

さいたま市に住民票がある または **さいたま市に住所のある施設・学校等に入所・通所・通学**

***住民票はさいたま市以外の県内市町村で、さいたま市内の学校(施設)に通っている場合、**

「埼玉県代表」と「さいたま市代表」どちらも選択可能ですが、申込時に代表希望をどちらか一つに絞って選択してください。

競技別に異なる項目

①障がい区分確認事項(陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、ボッチャ)

主たる障がいで肢体不自由を選択した場合、該当する箇所に○印と必要事項を記入。

※「上肢に中程度以上の不随意運動や協調性低下」とは、自己の意思に反して勝手に上肢が動いたり、上肢は動くが運動のコントロールができず、目的どおりに動かせないなど、日常生活に著しい障がいがあることをいいます

⑫障がい区分番号【参考：障がい区分の解説表】

⑦障がい分類で記入した障がいの該当する区分を一つ選択し、記入。

身体障害者手帳の記入内容から該当する障がい区分番号が選ばれているか、別表 I 及び基本障がい区分の解説表を照らし合わせて確認してください。

⑬参加種目

別表 I で、障がい区分番号において参加可能な種目か、必ずご確認ください。参加できる種目は障がい区分により異なります。

陸上競技、水泳は種目コード、種目名を記入。その他競技は、種目を選択し、該当する番号を○で囲む。また、自己記録、アベレージ欄がある競技は、記録を記入。

陸上競技、水泳、フライングディスクの全国大会代表希望者は必ず2種目を選択ください。
(フライングディスクはアキュラシーから1種目、ディスタンスから1種目選択)

(陸上競技)

走高跳、走幅跳を選択した方は、「走高跳で希望する最初のバーの高さ」、「走幅跳で希望する踏切板の位置」を記。

(ボウリング)

シューズについて、「1シューズを持参する」または「2貸し靴利用」どちらかを○で囲む。
「2貸し靴利用」の場合は、靴のサイズを記入。

⑭競技中に使用する補装具等番号(陸上競技、卓球)

競技中に「補装具」を使用する方は、申込書下段から該当する番号を記入。

義肢・装具等「その他」を選択した方は、使用する補装具の名称をご記入ください。

⑮特記事項

該当する箇所に○印と必要事項を記入。

「同伴する介助者の入場を希望」を選択する場合は、その理由を具体的にご記入ください。

記入例

・肢体不自由の場合：移動介助のため、会話が困難で意思の伝達が困難なため

・視覚障がいの場合：競技場内での移動介助のため

・知的障がいの場合：出場種目がわからないのでスタート地点で種目を伝えるため

※「初出場で不安がっている」、「緊張している」等、障がいの種類や程度によらない理由での申請は認められません。

※【彩の国ふれあいピック特別措置について】<陸上競技(特記事項 2)、水泳(特記事項 5)>

全国障害者スポーツ大会では、スポーツへの参加をととした社会参加の推進という大会の目的をふまえ、招集から競技終了まで原則として選手自身が一人で行動できるように、介助者の役割と介助者を申請できる障がい区分、介助の内容について競技規則に示されています。

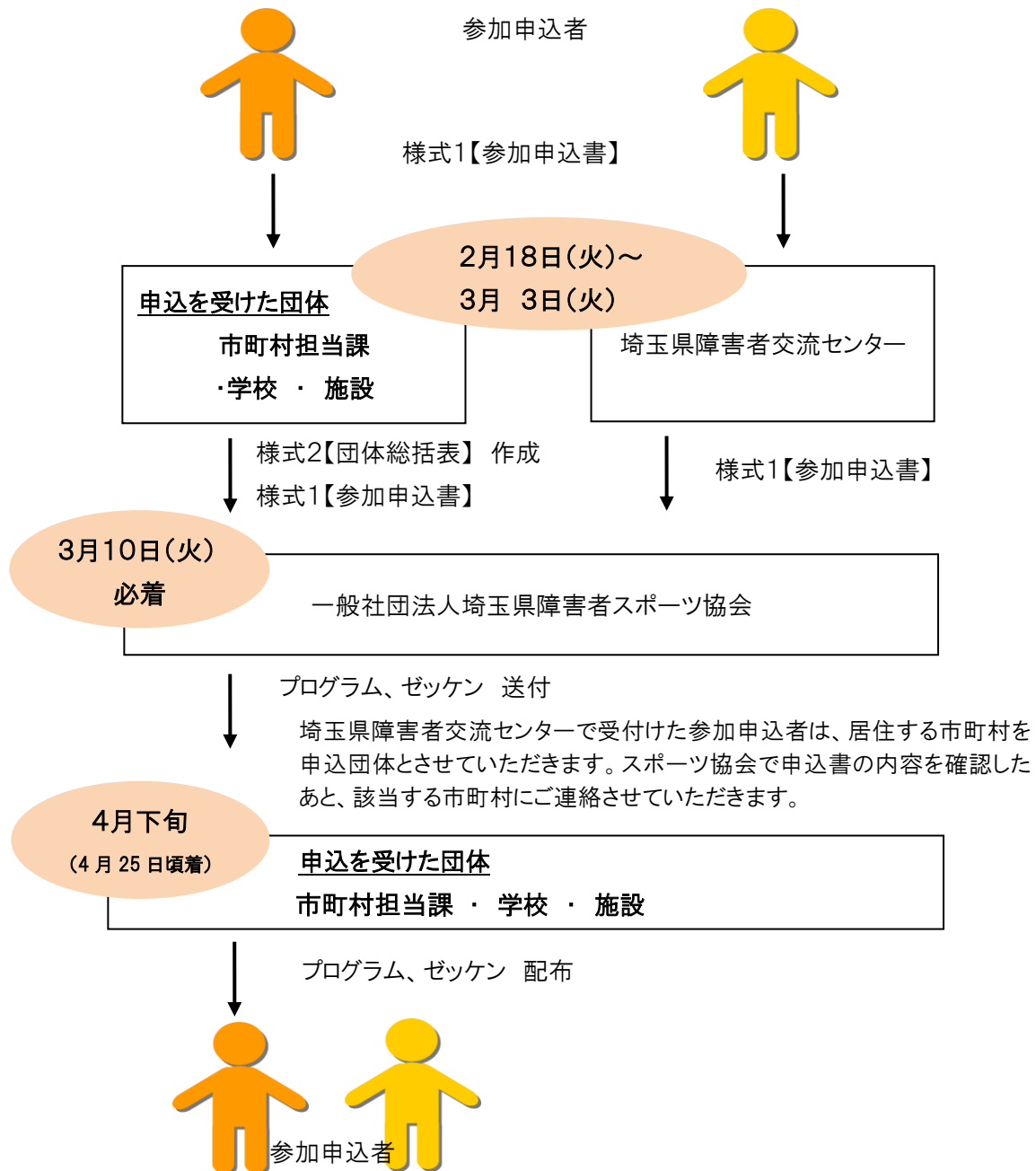
彩の国ふれあいピック春季大会は、全国大会の埼玉県・さいたま市代表選手選考会を兼ねていることから、原則として全国障害者スポーツ大会競技規則に則り大会運営をしていますが、全国大会希望者のみが参加する大会ではありませんので、介助を申請できる障がい区分を限定せずに参加できるよう、「彩の国ふれあいピック特別措置」を設けています。

特別措置を申請することで、障がい区分に関係なく介助者の同伴が可能になりますが、全国大会代表を希望する選手については、全国大会参加を想定し、特別措置を申請することができませんのでご注意ください。(平成 28 年度大会～実施)

4、団体総括表の作成について

- (1) 団体名 市町村、施設、学校名を記入してください。
- (2) 連絡先 申込に関する連絡責任者の氏名、所属名等を記入してください。
- (3) 申込数 競技別の参加申込者数(様式1【参加申込書】の枚数)を記入してください。

5、参加申込の流れ



一般社団法人 埼玉県障害者スポーツ協会

■ 申込書送付先

〒330-8522 さいたま市浦和区大原3-10-1 埼玉県障害者交流センター内

■ 問合せ先

TEL 048-822-1120 FAX 048-822-1121

E-mail 2004@sainokuni-sasa.or.jp

ホームページ <https://sainokuni-sasa.or.jp>